



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,587	12.7	56	—	50	—	△79	—
25年3月期第2四半期	6,729	△2.9	△82	—	△59	—	△291	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 168百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △261百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△2.32	—
25年3月期第2四半期	△8.43	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,428	5,238	34.2
25年3月期	13,949	5,158	35.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,937百万円 25年3月期 4,908百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成26年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	4.0	500	26.8	500	16.6	300	116.6	8.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、(添付資料)4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	36,142,529株	25年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,885,921株	25年3月期	1,883,548株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	34,257,584株	25年3月期2Q	34,604,920株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参 考)

1. 平成26年3月期第2四半期の個別業績（累計）（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,788	4.5	△163	—	△34	—	△90	—
25年3月期第2四半期	4,580	△5.7	△221	—	△130	—	△134	—

2. 平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	△0.6	60	16.3	210	22.2	170	△38.9	4.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和策の効果により円高の修正や株価の上昇が進行し、輸出関連企業を中心に企業業績が好転し景気回復の兆しを見せ始めております。しかしながら、円安進行に伴う原材料価格の高騰やエネルギーコストの上昇による消費者物価の上昇が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

染色加工業界におきましては、国内では、消費者マインドの改善を背景に百貨店を中心として衣料品販売に回復の兆しが見られますが、安価な海外製品の流入や海外への生産移転の流れは続いており、需要減少に歯止めが掛からない厳しい環境が続いております。

その一方で、当社が積極的に事業拡大を進める東南アジア地域におきましては、一部で通貨安やインフレ圧力などによって成長の鈍化が懸念されておりますが、中長期的には着実な経済成長により、購買意欲の高い中間所得層の増加が見込まれるなど、生活水準の向上による市場の大幅な拡大が期待されております。

このような環境の下、当社グループは、更なる収益力の向上を目指し、主力の染色加工事業におきましては、海外事業の収益拡大に注力し、インドネシア子会社、タイ子会社ともに引き続き現地における製造インフラやサプライチェーンの整備と強化に努めました。とりわけインドネシアにおきましては、当社子会社にて大型設備投資による無地染加工設備の増設が完了し、生産能力を大幅に増大させているほか、高い技術力を持つ日本の織布会社との提携により現地織布会社への技術指導を開始するなど、インドネシア国内向けに品質向上や素材のバリエーション増加にも取り組みました。その一方、国内では、高付加価値加工商品の開発・拡販に加え、短期期対応や定番加工商品の取り込みにより受注確保に努めております。

また売上拡大を進める縫製品販売事業におきましても、インドネシア一貫生産体制を活用した日本向け販売の拡大に積極的に努めたほか、非繊維事業では保育サービス事業の更なる拡大に取り組みました。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,587百万円（前年同期比12.7%増、857百万円増）となり、2期ぶりの増収となりました。これは、主として事業拡大を進める海外子会社の大幅な増収に加え、縫製品販売事業、保育サービス事業の増収が寄与したことによります。

利益面は、主に海外子会社の増益と国内染色加工事業の収益改善効果により、営業利益56百万円（前年同期は営業損失82百万円）、経常利益50百万円（前年同期は経常損失59百万円）となり、営業利益、経常利益段階では6期ぶりに黒字を確保しております。一方、特別損失として磐田事業所の閉鎖に伴う事業所閉鎖損失31百万円の計上もあり、法人税等を控除した四半期純損失は79百万円（前年同期は四半期純損失291百万円）となりました。なお、前第2四半期は大幅な四半期純損失を計上しておりますが、これは米国子会社の解散に伴う事業整理損（特別損失）の計上によるものです。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①染色加工事業

染色加工事業の売上高は5,840百万円（前年同期比11.3%増、593百万円増）と売上を伸ばし、営業利益は50百万円（前年同期は営業損失136百万円）と黒字回復しております。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

##### （加工料部門）

加工料部門の売上高は4,302百万円（前年同期比4.0%増、164百万円増）となり、国内の染色加工事業は無地染加工の受注苦戦により減収となりましたが、海外子会社2社が順調に売上を伸ばし増収となりました。

国内では、前期に集約化した事業体制のもと、収益を確保するため、受注面では、高付加価値加工商品の拡販や定番加工商品の取り込みを努める一方で、各生産拠点で原材料費の無駄削減や機械設備の生産性向上など原価低減活動にも積極的に取り組みました。しかしながら、プリント加工の受注が比較的堅調に推移した一方で、無地染加工の受注は、編物加工分野では、量販店向け仕上加工の落ち込み、織物加工分野では、海外への生産移転等による構造的な需要減少により苦戦が続きました。

その一方、海外では、コスト面でインドネシア子会社・タイ子会社の双方で、人件費やユーティリティー関連費用が上昇するなど逆風がありましたが、販売面では、構築したサプライチェーンを積極的に活用し内地・輸出向けともに売上を大きく伸ばしております。インドネシア子会社では、インドネシア国内向けの受注が好調に推移したほか、加工料の値上げ効果も売上拡大に寄与しました。タイ子会社では、タイ国内向けのプリント加工の受注が輸出向けを中心に好調に推移しております。

##### （テキスタイル販売部門）

テキスタイル販売部門の売上高は1,538百万円（前年同期比38.6%増、428百万円増）と増収となりました。日本国内におきまして、衣料品、ユニフォーム向けに堅調に販売が伸びたことに加え、インドネシア子会社におきまし

ても、日本向けや欧州向けを中心に販売が好調に推移したことによります。

#### ②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、売上高1,069百万円（前年同期比28.8%増、239百万円増）と増収となりましたが、営業損失40百万円（前年同期は営業利益11百万円）となりました。

同事業は、インドネシア一貫生産体制を活用し、取扱い品目をアウター商品まで広げるなど積極的に商量の拡大に努めたことにより大幅に売上を伸ばしました。しかしながら、コスト面で、円安による仕入価格の上昇に加え、一時的ではあるものの想定を超えた物流費用の発生が収益を大きく圧迫することとなり赤字となりました。

#### ③保育サービス事業

保育サービス事業は、売上高774百万円（前年同期比10.5%増、73百万円増）と増収となり、営業利益17百万円（前年同期比1.4%減、0百万円減）となりました。

積極的な営業活動による病院・企業等の事業所内託児所件数の順調な増加が売上増加に寄与しました。しかしながら、更なる事業拡大を目的に人材の確保を積極的に進めており、コスト面で、人件費が先行費用として増加傾向にあるため、営業利益は前年同期と比べほぼ横ばいとなりました。

#### ④倉庫事業

倉庫事業は、売上高137百万円（前年同期比2.3%減、3百万円減）、営業利益3百万円（前年同期比6.5%減、0百万円減）となりました。

国内染色加工事業の商量減少が続く厳しい環境の中、荷役取扱数量の確保と効率的な事業運営に努めましたが、売上を伸ばすことが出来ず、減収減益となりました。

#### ⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は88百万円（前年同期比7.3%増、6百万円増）、営業利益は24百万円（前年同期比19.4%増、3百万円増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、14,428百万円（前連結会計年度末比3.4%増、478百万円増）となりました。これは主にその他有形固定資産の増加349百万円、投資有価証券の増加151百万円等によるものです。

負債は、9,189百万円（前連結会計年度末比4.5%増、399百万円増）となりました。これは主に長期借入金の増加378百万円、その他固定負債の増加620百万円、短期借入金の減少187百万円、その他流動負債の減少101百万円、役員退職慰労引当金の減少262百万円等によるものです。

純資産は、5,238百万円（前連結会計年度末比1.5%増、79百万円増）となりました。これは主に四半期純損失の計上79百万円及び配当金支払68百万円により利益剰余金148百万円減少した一方、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加99百万円、為替換算調整勘定の増加78百万円等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては、業績予想数値は平成25年5月10日公表時から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社は一部の建物を除いて定率法を採用し、在外連結子会社は定額法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社においても定額法に変更致しました。

この変更は、前連結会計年度に完了した国内染色加工事業に関する生産体制の再構築を契機として設備の稼働状況等の検討を実施したところ、今後は市場環境に適した安定的な稼働が見込まれることから、国内の設備投資は現状生産能力の維持・更新を中心に行うことになり、定額法による減価償却の方法を採用することが当社及び国内連結子会社の操業状況をより適切に反映させることができると判断したため行ったものであります。

この変更により、従来の方法と比べて、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が62,123千円減少し、営業損益、経常損益及び税金等調整前四半期純損益は、それぞれ62,123千円増加しております。

(4) 追加情報

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員退職慰労金制度を平成25年3月31日をもって廃止することを、平成25年1月25日開催の取締役会で決議いたしました。また、平成25年6月27日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金を打ち切り支給することとし、その支給の時期は取締役及び監査役の退任時とすることを決議いたしました。

これに伴い、該当する「役員退職慰労引当金」を取り崩し、打ち切り支給額の未払い分262,353千円を固定負債の「その他」に含めて計上しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,477,728	1,553,582
受取手形及び売掛金	3,601,297	3,381,919
商品及び製品	395,797	401,544
仕掛品	398,865	404,581
原材料及び貯蔵品	329,889	389,585
繰延税金資産	41,901	50,014
その他	235,671	314,700
貸倒引当金	△8,285	△20,721
流動資産合計	6,472,866	6,475,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,491,870	1,524,752
機械装置及び運搬具(純額)	1,884,074	1,860,689
土地	1,818,334	1,831,103
建設仮勘定	124,675	69,654
その他(純額)	109,742	459,535
有形固定資産合計	5,428,697	5,745,735
無形固定資産		
のれん	296	98
その他	33,885	33,618
無形固定資産合計	34,181	33,717
投資その他の資産		
投資有価証券	1,663,724	1,815,642
繰延税金資産	22,455	30,201
その他	340,162	340,215
貸倒引当金	△12,638	△12,415
投資その他の資産合計	2,013,703	2,173,645
固定資産合計	7,476,582	7,953,097
資産合計	13,949,449	14,428,304



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,065,689	2,098,012
短期借入金	2,183,025	1,995,342
未払法人税等	53,220	36,257
賞与引当金	45,768	81,934
役員賞与引当金	4,000	—
その他	990,688	889,033
流動負債合計	5,342,392	5,100,581
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,075,156	1,453,520
退職給付引当金	1,594,462	1,498,183
役員退職慰労引当金	272,894	10,698
資産除去債務	37,548	37,973
その他	438,034	1,058,676
固定負債合計	3,448,095	4,089,053
負債合計	8,790,487	9,189,635
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,151	1,400,151
利益剰余金	367,736	219,623
自己株式	△370,345	△370,627
株主資本合計	5,697,542	5,549,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,886	215,958
為替換算調整勘定	△906,282	△827,662
その他の包括利益累計額合計	△789,395	△611,704
少数株主持分	250,814	301,226
純資産合計	5,158,961	5,238,669
負債純資産合計	13,949,449	14,428,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,729,965	7,587,701
売上原価	5,917,019	6,718,953
売上総利益	812,946	868,747
販売費及び一般管理費	895,509	811,806
営業利益又は営業損失(△)	△82,562	56,941
営業外収益		
受取利息	768	1,388
受取配当金	27,482	24,894
負ののれん償却額	3,237	—
還付消費税等	36,241	—
雑収入	24,080	8,819
営業外収益合計	91,810	35,102
営業外費用		
支払利息	16,461	19,085
為替差損	12,108	7,116
雑支出	40,254	15,670
営業外費用合計	68,824	41,872
経常利益又は経常損失(△)	△59,576	50,170
特別利益		
移転補償金	20,360	—
特別利益合計	20,360	—
特別損失		
事業所閉鎖損失	—	31,313
事業整理損	168,050	—
その他	15,902	1,720
特別損失合計	183,952	33,033
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△223,169	17,137
法人税、住民税及び事業税	45,239	51,481
法人税等調整額	△2,250	1,976
法人税等合計	42,989	53,457
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△266,158	△36,320
少数株主利益	25,693	43,275
四半期純損失(△)	△291,851	△79,595

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△266,158	△36,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△182,309	99,071
為替換算調整勘定	186,931	106,076
その他の包括利益合計	4,622	205,147
四半期包括利益	△261,536	168,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△283,822	98,057
少数株主に係る四半期包括利益	22,285	70,769

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△223,169	17,137
減価償却費	232,112	184,109
移転補償金	△20,360	—
事業所閉鎖損失	—	31,313
事業整理損失	168,050	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△149,526	△106,623
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,271	12,187
賞与引当金の増減額(△は減少)	13,513	36,166
受取利息及び受取配当金	△28,250	△26,283
支払利息	16,461	19,085
為替差損益(△は益)	9,203	8,081
売上債権の増減額(△は増加)	724,228	278,597
たな卸資産の増減額(△は増加)	△38,529	△39,895
仕入債務の増減額(△は減少)	△514,425	△27,930
未払費用の増減額(△は減少)	△50,930	△67,362
その他	△79,773	△187,582
小計	63,875	131,000
利息及び配当金の受取額	28,250	26,283
利息の支払額	△16,690	△18,709
法人税等の支払額	△36,774	△69,814
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,661	68,759
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	24,900	—
有形固定資産の取得による支出	△180,878	△537,038
有形固定資産の売却による収入	46,031	33,390
有形固定資産の売却に伴う支出	△192,048	—
投資有価証券の取得による支出	△122,089	—
投資有価証券の売却による収入	43,432	—
その他	32,597	4,735
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348,054	△498,912
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	△264,194
長期借入れによる収入	500,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△370,900	△363,577
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
セール・アンド・リースバックによる収入	—	483,354
配当金の支払額	△69,264	△68,517
少数株主への配当金の支払額	△18,518	△20,357
その他	△17,526	△2,495
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,789	484,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,358	18,076
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△262,245	72,134
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△8,260	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,630,273	1,449,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,359,768	1,521,293

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,247,745	714,681	700,771	2,020	6,665,219	64,746	6,729,965	—	6,729,965
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	10	116,081	—	138,855	254,947	17,623	272,571	△272,571	—
計	5,247,755	830,763	700,771	140,876	6,920,167	82,370	7,002,537	△272,571	6,729,965
セグメント利益又は 損失(△)	△136,811	11,539	18,129	3,880	△103,261	20,549	△82,712	150	△82,562

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額150千円には、セグメント間取引消去347千円、のれんの償却額△197千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,840,521	905,059	774,633	1,104	7,521,318	66,383	7,587,701	—	7,587,701
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	424	164,928	—	136,471	301,824	21,988	323,813	△323,813	—
計	5,840,946	1,069,987	774,633	137,575	7,823,143	88,371	7,911,515	△323,813	7,587,701
セグメント利益又は 損失(△)	50,201	△40,522	17,877	3,628	31,184	24,526	55,711	1,230	56,941

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,230千円には、セグメント間取引消去1,427千円、のれんの償却額△197千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載したとおり、有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社は一部の建物を除いて定率法を採用し、在外連結子会社は定額法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社においても定額法に変更致しました。

この変更により、従来の方と比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、染色加工事業において61,226千円増加、保育サービス事業において1,003千円増加、倉庫事業において105千円減少、その他事業において0千円増加しております。